

## 新年のご挨拶

会長 森 健二



令和6年という新しい年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

始めに、令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、被害に遭われた方々とそのご家族に対しまして、謹んでお見舞いを申し上げます。

さて、令和5年5月8日より、新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置付けが2類から5類へ変更となり外出制限がなくなり、当地において上期における観光入込客数は、令和元年度同期比の約90%まで回復しました。このような中、当協会では、7月より週5便の運航となった台湾へ、函館市、函館商工会議所と共にトッププロモーションを実施し、タイガーエアには、引き続きの安定運航と、エバー航空には早期の路線復活、新たにスターラックス航空には新規就航の要望活動を行い、2月1日からの台北一函館間の新規就航に繋がったものと受け止めております。また、韓国旅行代理店の招聘事業を行い、新たな商品造成を促したところであり、定期便が就航していない地域からも誘客を目指しプロモーションを進めて参りたいと考えております。そのほか、観光業における人材不足が顕著なことから、昨年には、観光人材の発掘を目的に高校において座学の観光ホスピタリティ学習会を実施いたしました。当協会が事務局を務めている「函館港まつり」については、昨年は、4年振りにほぼコロナ前の内容にて実施しましたが、コロナ前の6割程の参加者に留まったことから、本年は、さらに多くの市民の皆様に参加いただき函館の夏を楽しんでいただきたいと思いますので、会員の皆様におかれましても積極的なご参加をお願いいたします。今後においても、観光のあり方は、刻々と変化するものと思われまますが、常に選ばれる観光地となるよう取り組んで参りますので、皆様のご協力をよろしく願います。

### 台湾トップセールスの実施

令和5年5月12日に約3年ぶりにタイガーエア台湾による定期便が再開となり、以降、利用者も好調に推移していましたが、さらなる回復を図ることを目的に、令和5年10月2日から4日の期間にて、大泉函館市長、吉田市議会議長、函館商工会議所久保会頭、当協会森会長を中心とするメンバーで台湾を訪問、タイガーエア台湾への返礼を行うとともに、コロナ禍以前に直行便の運航があったエバー航空への定期便の再開、スターラックス航空に対する新規就航の要請を行ったほか、現地旅行会社に対してのさらなる送客要請を行って参りました。



### 北東北三県・北海道韓国合同観光商談会2023 および北海道観光セミナーINソウルへの参加

新千歳空港への直行便がコロナ禍前を上回る便数で運航されており、当市への訪問実績についても2019年度と同等数まで回復していた韓国へのプロモーションとして、令和5年9月11日に現地にて開催の商談会および北海道観光セミナーに参加し、現地旅行会社に対し観光PRを行って参りました。



また、翌12日には、10月に実施を予定する当市および道南地域でのファミトリップを充実させることを目的に、参加が決まっていた旅行会社を訪問し、詳細の打ち合わせや情報交換を行って参りました。

### 韓国旅行会社ファミトリップの実施

韓国旅行会社による函館・道南地域への周遊ツアー造成に繋げることを目的に、令和5年10月21日から24日の期間にて、北海道観光振興機構道南地域分科会による協力のもと、3泊4日で道南地域を巡るファミトリップを実施いたしました。視察先としては、コロナ禍を経て世界的に関心が高まっている「自然・アウトドア」「屋外レジャー」に関連するスポットを多く取り入れたほか、ナイトタイムを楽しむコンテンツの提案として函館競輪の「ナイト競輪」を初めてファミトリップのコースに加えしました。



視察以降、ツアー内容を見直し、洞爺・登別・札幌の3泊のうち1泊を函館に変更した旅行会社があるなど、具体的な成果も確認されております。

### 広東国際旅游産業博覧会への参加

令和5年9月15日から17日の期間にて、中国広州市にて開催された国際観光博覧会にて、全日本空輸株式会社函館支店および同社広州・深圳支店の協力を得て、函館市とともに参加いたしました。博覧会では函館市出展のブースにて、現地旅行代理店や一般客へアフターコロナにおける観光コンテンツ情報をPRして参りました。また、翌18日に中国深圳市で現地旅行代理店へのセールスコールを実施し、中国におけるアウトバウンドの動向等について情報交換を行いました。博覧会およびセールスコールともに、北海道に対する認知度は非常に高いという中で、函館への興味関心を引くことができたことと手ごたえがあり、当地への継続したプロモーションを実施する必要があると感じております。



### 教育旅行プロモーション事業の参加

令和5年11月20日から22日の期間にて、令和4年度に教育旅行で来函した学校を中心に宮城県、山形県、福島県、埼玉県の中学校、高校の計40校を函館市、北斗市、渡島総合振興局、函館ホテル旅館協同組合、市内交通関係事業者とともに訪問いたしました。教育旅行実施に対するお礼を伝えるとともに今後の訪問先や選定基準についてヒヤリングを行ったと同時に、同4県および東京都の旅行代理店へ訪問し、現地でのニーズや動向について情報収集を行いました。来年度以降、例年通りの目的地に戻すという声もありましたが、毎年行先を変えて選定しているという学校もあったことから引き続き函館が候補地として選ばれるよう継続してプロモーションを行っていく必要があると受け止めて参りました。



### 「ウェルネスツーリズム」コンテンツ造成事業の実施

(公社)北海道観光振興機構が募集する「令和5年度地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業」に当協会が企画提案した「函館西部地区の特色を活かしたウェルネスツーリズム造成事業」が令和5年8月10日付で採択されました。ウェルネスツーリズムにおける当地のブランド化を目指し、モデルコース整備やイメージ動画制作・YouTube動画配信やSNSキャンペーンによるPRを進めたと同時に、新たな取り組みとしてスマートフォンで周遊できるDX旅行商品「函館西部地区ウェルネスパスポート」を造成し、モニター募集による実証実験を催行し、21人の参加がありました。新しい函館観光を提案する商品として改良し、次年度販売を開始するべく準備を進めております。



## ■卒業旅行誘致プロモーションの実施

令和4年度に引き続き、当市観光の閑散期である2月から3月に需要が高まる卒業旅行の学生をターゲットとしたプロモーションを令和5年12月11日から実施しております。

卒業旅行の手配が年間を通して最も多いとの調査報告もある1月に向け、令和5年12月より、SNSを活用したキャンペーンやYouTubeに公開しているプロモーション動画を学生に限定して広告配信するなど、函館での卒業旅行の魅力の周知を行いました。

また、卒業旅行の学生に限定し配布する最大2,000円がお得になるクーポン付きの「卒業旅行応援クーポンBOOK」については、前年度は来函者への配布のみとしておりましたが、本年度については、旅行先選定のきっかけとなるよう、北海道じゃらんの協力のもと、じゃらんネットの広告特集に記事を掲載し、宿泊施設による同BOOK付きの【卒業旅行応援プラン】の販売を行うなど、令和6年3月12日迄の期間での配布に取り組んでおります。



## ■開港164周年記念函館港まつり開催報告



令和5年8月1日から5日まで開催した「開港164周年記念函館港まつり」は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが2類から5類に移行したことから、ほぼコロナ前と同様の内容で開催し、「函館いか踊り」も4年ぶりに実施いたしました。

8月1日に「第68回道新花火大会」で華々しく開幕し、2日と3日の両日にはメインパレードの「ワッショイはこだて」を実施し、2日間で約12,000人が参加し、大いに盛り上がるなど、熱気溢れる祭りの雰囲気を楽しんでいただけたことと存じます。

## ■2024はこだて冬フェスティバル開催中

2024はこだて冬フェスティバルでは、昨年12月1日より、八幡坂、二十間坂、開港通りを光で彩る「はこだてイルミネーション」と、JR函館駅前広場を光と音楽で演出する「はこだてひかりのガーデン」を開催しており、2月からは毎週土曜日に函館港緑の島から函館の夜空を彩る「はこだて冬花火」を開催しております。是非、本イルミネーションイベントと冬の花火をお楽しみください。

### はこだてイルミネーション

歴史的建造物が立ち並ぶ元町地区の坂や通りにある街路樹を約16万球のイルミネーションで彩る

- ◆開催期間：令和5年12月1日(金)～令和6年2月29日(木)
- ◆点灯時間：日没～22:00
- ◆場所：八幡坂、二十間坂、開港通り

### はこだてひかりのガーデン

場所を元町公園から移しての開催は、今回が初となる本イベント。JR函館駅前を鮮やかな光と、雪の灯りをイメージした音楽の演出で幻想的に彩ります

- ◆期間：令和5年12月1日(金)～令和6年2月29日(木)
- ◆時間：17:00～23:00
- ◆場所：JR函館駅前広場

### はこだて冬花火

函館の冬の夜空を美しく飾る冬花火

- ◆開催日：令和6年2月3日(土)、10日(土)、17日(土)、24日(土)の4回
- ◆時間：20:00～(約10分程度)
- ◆打ち上げ場所：緑の島

【問い合わせ先】はこだて冬フェスティバル実行委員会 電話 0138-27-3535



## ■みなみ北海道クルーズセミナーの実施

コロナ禍において長期に渡り国際クルーズの運航が停止していましたが、令和5年3月下旬に約3年4か月ぶりに受け入れを再開し、本年度は、2019年度と並び過去最多となる47回の寄港回数を記録するなど、盛況となったクルーズ船受入れのさらなる拡大を図ることを目的として、北海道観光振興機構道南地域分科会の協力のもと、函館市との共催により、首都圏の船会社、クルーズ関連の旅行会社等を対象としたクルーズセミナーを令和6年2月8日に東京都で開催いたしました。同セミナーでは、函館市港湾空港部による函館港の最新情報の説明や、函館市および参加の道南5市町・団体によるPRを行い、寄港地としての魅力を発信して参りました。



## ■2023はこだてクリスマスファンタジー開催報告

令和5年12月1日から25日まで、赤レンガ倉庫群前にて、「2023はこだてクリスマスファンタジー」を開催いたしました。

毎日、約15万球の電飾に彩られたクリスマスツリーの点灯と花火の演出で、多くの観客を魅了いたしました。

さらに今年はJRA函館競馬場特別協賛による「プロジェクトマッピング」が行われ、よりロマンチックで幻想的な内容で開催することができました。

また、例年好評いただいております「スーパード」は、前回よりも4店舗増え、9店舗16種類のオリジナルスープを目当てに多くの市民や観光客にご来場いただき、函館のクリスマスの雰囲気を楽しんでいただくなど、無事成功裡に終えることができました。

開催に当たりましては、会員の皆様からの多大なるご支援ご協力に厚く御礼申し上げます。



## ■「観光ホスピタリティ座学」の実施

昨今、観光業での人材不足が顕著なため、令和5年7月21日に新たな人材の発掘を目的に、函館商業高校で「観光ホスピタリティ座学」を実施いたしました。

飯野総務ホスピタリティ委員長を講師に、「観光に必要なホスピタリティの考え方」と題して、流通ビジネス科2年生40名が参加し、観光業のホスピタリティの重要性を学びました。

今後も、地元の高校生に観光業界に対していいイメージを持ってもらい、就職先に観光業を選択の一つに選んでもらえるよう取り組んで参りたいと考えております。



## ■人材確保に向けたセミナーの実施

令和6年2月2日、観光業等における人材不足の解決策を探ることを目的に、函館市中央図書館で「人材確保に向けたセミナー」を実施いたしました。今回は、函館市経済部との共催で、函館市経済部雇用労政課長の山村英次様、(株)リクルートジョブスリサーチセンター長の宇佐川邦子様、道南地域国際交流事業協同組合の久末大貴様の3名を講師にお招きし、観光業界および他業種より45名が参加するなど、新たな人材確保策や人材の定着、外国人の人的活用などについて学びました。

